

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3816409	陶芸と生活アート Ceramics and Lifestyle	小山田尚弘、 水野雅之		専門	1	選択	1.2集中(後期)

科目の概要

授業では陶芸作品とステンシル染めの作品を制作します。陶芸は学内に焼き窯がないため、学外の窯元の水野先生の工房(瀬戸市)で制作します。制作した陶芸作品は10月下旬ごろ大学に届きます。ステンシル染めは学内で染色制作します。陶芸と染色の専門的な技術を習得し、各学生の個性を伸ばすことを教育目的としています。授業をとおして、建学の精神・社会人基礎力・p i s a型学力を身に付け、個性的な創作表現ができるように潜在能力開発に努めてほしい。

学修内容	到達目標
① ステンシル染の技法について学ぶ。 ② 陶芸制作の技法を習得する。 ③ 作品制作で色々と工夫し創造力を高める。	① ステンシル染めの技術の修得ができる。 ② 陶芸の技術を修得し鶴呑み茶わんや皿など作ることができる。 ③ 作品制作で色々と工夫し創造力を高めることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	陶芸や染色の技術を身に付けて作品を個性的に作ることができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題は必ず期日までに仕上げ提出できた。
考え抜く力	課題発見力	色彩や造形の制作上で迷ったら、色々と試し上手に仕上げることできる。
	計画力	
	創造力	授業内に「なぜ?」「どうして?」という疑問を持ちながら、考え制作することができる。
チームで働く力	発信力	質問事項を話だけで伝えるのが難しい場合には、紙に描いて説明できる。
	傾聴力	教員の説明を聞き参考にしながら作品を仕上げることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：必要に応じてプリントを配布する。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他の科目との関連：色彩と表現、基礎デザイン、染色デザイン、クリエイティブデザイン。
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・教員の話をよく聞いてしっかり技術を身に付けてほしい。 ・友達の作品スタイルに影響されないように、自分の個性を大切に追求し納得の作品を制作してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻や欠席しないように作品を制作して欲しい。 ・汚れてもよい服装をしてくる。 ・作品製作費・・・染色材料費500円 陶芸材料費2.700円

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
	レポート	0	①		
			②		
③					
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
総合評価割合		100			

・制作した作品については完成度(特に優れて高い：S、優れて高い：A、完成はしているが仕上がりは普通：B、完成はしているが仕上がりは悪い：C、完成できてない：D)を評価する。陶芸の知識技術をもとに陶器作品を制作したり、ステンシル染や絞り染の技法を使いTシャツなどを染色できる。

主体性：陶芸や染色の技術を身に付けて作品を個性的に作ることができる。
 実行力：課題は必ず実行できる。
 課題発見力：色彩や造形の制作上で迷ったら、色々と試し上手に仕上げまとめることができた。
 創造力：授業内に、「なぜ?」「どうして?」という疑問を持ちながら、考えることができる。
 発信力：話だけで伝えるのが難しい場合には、資料などを用意することができた。
 傾聴力：教員の説明を聞き参考にしながら作品を仕上げるができる。
 規律性：作品の提出期限を守ることができる。遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：制作課題に対して、一生懸命に制作に励み、アイデアもたくさん出し、デザイン性や技術に優れ、完成度の高い作品として仕上がっている。課題内容を正確に捉え、配色や構成など大変よくできている。魅力的でオリジナリティな作品に仕上がっている。 S：Aの基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品はクラスの中でも際立って優れた高い評価となっている。</p>	<p>B：制作課題は提出期限までに、教員の指示通りの制作を行って完成できている。基本的なデザインや染色の技術・知識を身につけている。 C：Bの基準に対して、作品制作の仕上がりが悪く、授業態度も努力の姿勢が感じられない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「ガイダンス」 授業内容説明。 連絡や注意事項など確認。	講義と実技 制作方法説明後に各自制作実習。 担当 小山田	授業の目的や意義を理解し実習に必要なものを準備できる。	(復習)授業説明会での連絡や注意事項など確認しまとめておく。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
2	「陶芸作品制作①」 陶芸の歴史や技法について教員から説明。	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 水野	湯のみ茶碗、ご飯茶碗などの制作方法が理解できている。	(予習)陶芸の歴史や技法について教員から説明があるのでまとめる。 (復習) 湯のみ茶碗、ご飯茶碗などの制作方法をまとめる。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
3	「陶芸作品制作②」 制作の手順や技法などについて。	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 水野	陶芸用の土に水を混ぜて少しずつ練り合わせ、茶碗など器を制作できた	(予習)陶芸の歴史や技法についてまとめる。 (復習) 制作の手順や手びねり技法・絵付けをまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
4	「陶芸作品制作③」 絵付けの制作方法や種類などについて。	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 水野	制作技法を正しく習得し遅れないように仕上げるができる。	(予習)絵付けの制作方法や種類などについてまとめる。 (復習) 器の形から模様などについてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
5	「陶芸作品制作④」 ロクロ技法、手美練技法などについて。	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 水野	器の形から模様を自由に個性的に考えて制作することができる。	(予習)ロクロ技法、手美練技法などについてまとめる。 (復習) ロクロ技法、手美練技法などについてまとめる。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力
6	「陶芸作品制作⑤」 陶器の産地による技法や土の種類や割合について。	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 水野	筆の太さや柔らかさを上手く活かしながら丁寧に仕上げ描ける	(復習)陶器の産地による技法や土の種類や割合についてまとめる	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
7	「陶芸作品制作⑥」 器の種類や窯の種類について。	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 水野	器の仕上がりや色を考えて塗り上げて仕上げることができる。	(予習)器の種類や窯の種類についてまとめる。 (復習) 器の仕上がりや色についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
8	「陶芸作品制作⑦」 器の種類や窯の種類について。	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 水野	器の仕上がりや色を考えて塗り上げて仕上げることができる。	(予習)陶器の種類や窯の種類についてまとめる。 (復習)教員が批評した内容についてまとめ理解しておく。	90	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「ステンシル染めデザイン作成①」制作方法とデザインの種類についてスケッチブックにデザインを描き、色鉛筆やポスターカラーで描く	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 小山田	スケッチブックにデザインを描き、色鉛筆やポスターカラーで色彩できる	(予習) ステンシル染めに使えそうなデザインについて調べ考えてくる。 (復習) ステンシル染めについてまとめてアイデアを3作品以上を描いてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
10	「ステンシル染めデザイン作成②」アイデアスケッチを、できるだけたくさん描く。	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 小山田	アイデアスケッチを色鉛筆で着彩しできるだけたくさん描き上げ提出できる。	(予習) ステンシルの材料についてまとめる。 (復習) アイデアスケッチを基にステンシル染めのデザインについてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
11	「ステンシル型紙作成①」 デザインに従って画用紙にデザインを転写する	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 小山田	デザインに従って画用紙にデザインどおりに正確に刀で切取ることができる。	(予習) ステンシル型紙作成について復習しておく。 (復習) 型紙作成についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
12	「ステンシル型紙作成②」 型紙をツナギの部分を残して仕上げる、ツナギの残し方。	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 小山田	型紙をツナギの部分を残して仕上げ、ツナギも正確に残せることができる。	(予習) 一般的なステンシルのデザイン柄について調べる。 (復習) 型紙のデザインやツナギについてまとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力
13	「ステンシル型紙作成③」 染色の仕方と筆の使い方。	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 小山田	染色の仕方を説明後、染料をあまり筆に付けないように染めることができる	(予習) 型紙の歴史や種類や制作工程などまとめる。 (復習) 染色の仕方と筆の使い方についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
14	「ステンシル型紙作成④」 染色後の乾燥の仕方、仕上の方法、布裏からアイロンかけでの定着方法。	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 小山田	染色後によく乾燥させ、仕上げに布裏からアイロンをかけることができる。	(復習) 染色後によく乾燥させ、仕上げに布裏からアイロンをかけることができる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
15	「ステンシル型紙作成⑤」 作品提出の方法、まとめ、作品の批評会	講義と実技 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。 担当 小山田	Tシャツを染色し染め上げ後、提出用紙に名前や感想など記入して提出できる。	(予習) ステンシル型紙作成の手順をまとめる。 (復習) 教員からの作品の批評についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力